

のアルバム

「やすの農産物 de アート」開催！！

おいで野洲まるかじり協議会が市内の農産物をテーマにした体験型ワークショップイベント「やすの農産物 de アート」を開催し、多くの人で賑わいました。

参加した子どもたちは、野菜を原料とした絵の具で塗り絵をしたり、大麦を使ったヒンメリ（多面体の装飾品）や羊毛を使用した農産物ランチョンマットづくりなどに夢中！

イベント終了後には、「絵の具から本当に野菜の匂いがしてビックリしました。野菜で塗り絵ができると思ってもらえなかったのが、貴重な体験をすることができました。」との声が聞かれました。

野洲の農産物に触れ合う貴重な一日となりました。

▼3月6日 野洲図書館本館



▼3月2日 湖岸緑地中主吉川公園



魅力的なスポットを発見

ボランティア団体「しょうわのかい照輪野会」が湖岸緑地中主吉川公園内にある散歩道に、約250mに渡る竹垣を設置されました。

竹垣は、公園内で伐採された竹を有効活用され、市内の新たな観光スポットになればとの思いが込められています。

正方形に組む「四つ目垣」の形が基本ですが、曲がった竹を組み込んで曲線を描いたり、各所にさまざまなデザインが施されているのも見どころの一つです。

会長のいりえせいじ入江清次さんは、「実際に見に来ていただいて、竹の魅力に触れてもらえたら嬉しいです。」と話しておられました。

「としょかんBOX」巡回開始！

子どもたちに読書を楽しんでもらうため、図書館から市内の小学校すべてのクラスに学級文庫セットをお届けしました。

この学級文庫セットのネーミング（名称）を募集したところ、602人の子どもたちからさまざまな名称が応募され、選考の結果、「としょかんBOX」に決定。

この名称を応募された、三上小学校2年生のながしまとあ永島叶愛さんとみわなきさ巳波渚さんには表彰状と記念品を贈呈しました。

お届けした「としょかんBOX」は2カ月ごとに交換しますので、楽しみにしてくださいね♪

▼2月19日 三上小学校



▲右：永島叶愛さん
左：巳波 渚さん

歴史の小窓

—学芸員のメッセージ—

(199)

歴史民俗博物館 ☎587-4410、Fax587-4413

だいほんにゃきょう 大般若経 —平安への願い—

地震などの自然災害や病の流行は、いつの時代も人間にとって大きな悩み・不安の一つです。そのため、古くから人びとは平安をもたらすと考えられるお経を書き写し、読みました。

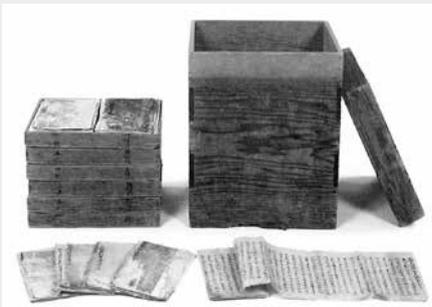
滋賀県には600巻からなるお経「大般若波羅蜜多経」(略して「大般若経」)が多く伝わっています。このお経は国家が無事であること、はやり病などの災いを払って福をもたらすことを願って書き写され、読まれました。大宝3(703)年に平安を願って大般若経を読む仏教行事「大般若会」が奈良の大寺院で初めて行われたとされ、その後、天皇の住まいである宮中、そして各地でも行われるようになりました。本市ではこれまでに大篠原、三上の山出、南桜、虫生などの集落において大般若経を読む行事が行われていたことが確認されています。

野洲に残る大般若経で注目されるのは矢放神社(吉川)に伝わるものです。神社にお経が伝わったことを不思議に思われた人がいらっしやると思いますが、明治時代に神と仏を切り離す考えが広がるまでは、神と仏は一体であると考えられていました。そのため、神社にお経を納めることや神の前でお経を読むことなどは珍しくはありませんでした。

さて、矢放神社の大般若経が注目される理由は、平安時代から鎌倉時代にかけて作られたとても古いものが含まれているからです。また、お経の最後に「兵主郷」「河尻村」などの記述があり、野洲の歴史を知る貴重な情報が書き添えられているためです。

下記のテーマ展では矢放神社の大般若経などを紹介しています。本展をとおして野洲の先人たちの平安に対する願いを感じとっていただくとともに、これまで営まれてきた暮らしと風習を考える機会になれば幸いです。

(博物館学芸員 齊藤慶一)



滋賀県指定文化財 大般若経(矢放神社伝来)

■テーマ展「魔除け・厄除けの文化 —滋賀県野洲の暮らしと風習—」
開催中～5月30日(日)

休館日:月曜日(祝日は開館)、4月30日(金)、5月6日(木)

※市民は入館無料

(運転免許証やげんきカードなどをご提示ください。)

※市ホームページ等で事前に開館状況をご確認の上、ご来館ください。

17 広報やす 2021.4



感染症対策等に役立てます

(株)ハーネス・ネット・ワークから新型コロナウイルス感染症対策や災害時等に役立ててほしいと市に申し出があり、不織布マスク2,000枚が寄贈されました。

寄贈されたマスクは、本市における新型コロナウイルス感染症対策や災害時等に有効活用させていただきます。

▼2月25日 市役所



100歳おめでとう

100歳の誕生日を迎えた諸頭貞子さん(野田)を栢木市長がお祝いに訪問しました。

大正10年2月17日生まれの貞子さんは、俳句や俳画を楽しんだり、器用な手先を生かして編み物や古くなった着物をリメイクして小物を作るなど、とても多趣味。

また、毎日欠かさず新聞を読み、気になった番組があると息子さんに教えてあげるそうです。

いつまでもお元気で。

▼2月17日

